

ウエス引火を想定

大豊建設、中央機材センターで防災訓練

大豊建設は19日、茨城県阿見町の中央機材センターで防災訓練を行った。工場棟内で火気を使用した機械の整備中に油分を含んだウエスに引火したことを想定。稲敷広域消防本部阿見消防署の指導協力を得て避難、消火、通報、救護訓練を実施した。写真（大豊建設提供）。

防災訓練には土木本部と技術研究所、中央機材センター、協力会社から約30人



が参加した。避難訓練では避難経路や人員、道路網、報告内容をそれぞれ確認。続いて放水訓練やLive 119映像通報システムとスマートフォンを活用した通報訓練を行った。救護訓

練では担架や簡易担架を使った運搬方法や自動体外式除細動器（AED）の使用などを確認。被災者への初期対応として骨折など応急処置訓練も実施した。

訓練後、中央機材センターの松本博之センター長は「緊急時に慌てず安全かつ迅速に行動できるよう、日頃から屋外消火栓や消火器の使用方法、避難時の注意点などを意識しながら訓練を重ねることが大切だ。AEDなどを使った救護訓練や応急処置訓練は災害時に近隣や家庭でも役立つだろう」と話した。

